

下田まち遺産のある風景。

伊豆最古の神社は 下田まち遺産でいっぱい。

由緒ある神社として知られる白濱神社。
こちらには下田まち遺産が複数認定されています。
今回は下田まち遺産担当・小川が白濱神社をご案内します。



白濱神社裏手の白浜大浜海岸には真っ赤な鳥居が海に向かって立っています。



01 白濱神社

白濱神社は伊豆最古の社です。祭られている神様は漁業と商業の神様である三嶋大明神と、その後神様で緑結びの伊古奈比咩命です。神社では緑結びの特別祈願を行っていて、若い女性に人気です。参道の左手には樹齢二千年で洞の中に薬師像が祭られているバクシン、右手には白龍と呼ばれるバクシンがあり、地中から年老いた白龍が天に昇っている姿が想像できます。

大潮の時に現れる 2つのビーチをつなぐ砂浜に注目！！

大潮とは約半月ごとに生じる干満の差が最大となる潮汐の状態のこと。普段は海に浸かっている砂浜が現れ、白浜大浜海岸から白浜中央海岸へと歩いて渡ることができます。途中、02の御三釜もこの大潮のときに見ることができます。



02 白濱神社御三釜

白濱神社の御三釜は、三つの海蝕洞が海と繋がっていて、大潮の時だけ海側から入ることができる自然の洞窟で、中に入ると神秘的な気持ちになるパワースポットです。また、御三釜の最も大きな海蝕洞の奥深くには洞窟があり、その中には朱色の社がありますが、崖崩れのため入り口が封鎖されている事は出来ません。

※この岩場は、現在ジオパークにも指定されていますが、陸側は崖崩れ、海側は絶壁となっている為、神社では進入禁止としています。

えっ～こんなところ知らなかった！

大潮の時にしか中に入ることができない洞窟なんて聞いたことがない！と思い行ってみました。神秘的な空気が漂う洞窟内は、まるで神々のいる場所へ誘われたかのような気持ちになりました。皆さまにも一度体験してほしいと思わせる下田まち遺産ですが、落石の危険性があるため、訪れる際には十分に気をつけてください。



03 白濱神社末社

寛保元年（1741年）幕府からの助成等もなく村の棟梁達が相談しながら、白濱神社の本殿を建築し、大正10年本殿造営の際、旧本殿を現在の場所に移設したものが現在の末社です。この場所には社家の人々が信仰した神様が石の社に祭られていましたが、移設により石の社から現在の末社に移りました。また、末社建築後、時代が進んでから住民の善意で朱色に塗られていて、この善意の気持ちも後世に残していきたいものとなっています。



小川のオススメ 緑結び特別祈願

白濱神社では「緑結び特別祈願」（1,000円）が受けられます。お相手のいる方でも、いない方でも祈願を受けることができます。今回、私は相手の欄は空白ですが、相手が見つかり次第もう一度受けてみたいと思います。（受付：境内授与所）

白濱神社例大祭で行われる神事も下田まち遺産に認定されています。



04 白濱神社火達祭

毎年10月下旬に開催される白濱神社火達祭は伊豆随一の火祭として知られています。伊豆の島々の神々や御子神達に三嶋大明神を祭る白濱神社例大祭の始まりを知らせる合図として、7つの大きな火をかがします。現在では花火等も取り入れて賑やかになっていますが、昔は火達山と言う小さな山の頂で火を焚いていた様です。神々がこちらを見ているような、神聖な気持ちになります。



05 白濱神社御幣流祭

白濱神社御幣流祭は、例大祭が無事終了したことを伊豆の島々の神々や御子神達に知らせ、三嶋大明神の気持ちを御幣にのせて神社裏の大明神岩から島々に向けて流すというお祭りです。このとき、「御幣（おんべ）西」という西風が吹いて御幣を島々へ送るといふ言い伝えがあります。



06 白濱神社三番叟

伊豆を代表する民俗芸能として各地で奉納されていましたが、今ではその数が激減し、市内でも白濱神社の奉納三番叟のみとなりました。白濱神社例大祭にて約300年前から奉納され、地元若衆によって伝承されています。神聖視される舞であり儀式的な祝言曲のため、厳かな雰囲気の中行われ、身も心も洗われるような気持ちになります。（担い手の問題から奉納されない年もあります。）